

## 就職活動に必要な準備は完璧？

新卒で入った会社を辞める決意をし、働きながら転職先を探そうという29歳の兄、大輔さん。本格的な就職活動を目前に控えながら、まったく緊張感の見えない大学3年生の妹、ユリさん。この二人の兄妹が、お互いの就職活動について珍しく真剣に語りあっています。



どうやら二人の考え方は甘過ぎるようです。就職活動に必要な心がまえや準備として、二人に足りない点を探してみましょう。

大輔さん：ユリもそろそろ、本気モードに突入しなくちゃいけない時期だな。この不景気だから、資質だとか適性だとか、あれこれ考える前に、早いところ雇ってくれるところを見つけることだね。

ユリさん：心配ご無用。とにかく絶対つぶれないような会社を受けまくるから。それでも雇ってくれるところがないなら、そのときはそのとき。何とかするわよ。それより自分の心配をしたらどうなの？ 次の仕事、まだ決まっていなでしょ？

大輔さん：安定志向で、やりたいことは二の次。変にわがままを言わないし、新卒と違ってキャリアもある。面接のツボだって心得ているし、ユリなんかよりよっぽど有利さ。つまり、準備万端ってこと。あとは勘を働かせて相性のよい会社を選ぶだけ。

ユリさん：すごい自信。それなら経験者に質問！ 就職活動に必要な準備って何？ ここにリストアップしてみて。

大輔さん：リストアップするも何も、今言ったとおりだよ。



# 「働く」って どういうこと?

ところで、人はなぜ働くのでしょうか。就職活動をスタートさせる前に、改めて「働く」ことについて考えてみましょう。

## ① 目的を持つことの意味

就職活動に向けて周囲が慌ただしくなり始めると、みんなの動きに乗り遅れまいと焦り出す人がいます。まるで「就職しない」という選択肢などないかのように、何の疑問も持たずに準備を始めるのです。しかし、「みんなが就職するから」という理由で就職を目指すのは好ましくありません。

たとえば、将来は医者になりたいから医学部へ行く、筋力を鍛えたいからスポーツジムに通うといったように、明確な目的があって初めて具体的な行動が生まれます。そもそも「〇〇を目指したい」、「〇〇を成し遂げたい」という強い思いがなければ、自ら頭を使ったり、やるべきことを探したりする必要もありません。結果として、ただ指示を待つだけの人になってしまいます。どんな目的であれ、明確な目的があれば、その達成に向けて何をすればよいのか、自分に何ができるのかを考え、そして努力することができます。

## ② 人生を左右する働く目的

働く目的は人によって異なります。もちろん、正解などありません。「経済的に自立するため」、「家族の生活を支えるため」と答える人もいるでしょう。これも立派な目的のひとつであり、多くの人が「生きていくため」に働いているのも事実です。

しかし、給料という対価さえあれば、どんなに辛い仕事や困難な問題にも立ち向かえるかといえば、そうではありません。最終的には「生きていくため」であったとしても、同じ時間を仕事に費やすのであれば、そこに新しい目的を見出し、より多くのやりがいや喜びを味わえる方がよいでしょう。

また、社会に必要とされているという実感は、人を成長させる原動力にもなります。働く目的を考えることは、仕事を通じて何を得たいか、何を成し遂げたいかを考えることであり、ひいては人生をどう生きるかを考えることでもあるのです。